

# 大阪 あちこち

## ●蜂熊山 金剛院を訪ねて

金剛院は摂津市の北部にある真言宗の寺院です。寺伝によりますと、天平10年（738年）、僧行基が難波津におられた時、北東に光る所があるので行ってみますと、一老翁がおり、行基に珍菓を供しながら、「この地は霊地なり一寺の建立を乞う」と言い、消え去りました。行基は薬師如来を刻み本尊となし、放光山味舌寺と名付けました。その後、鎌倉時代の初頭、この地に賊徒が蜂起し、寺を守っていた官軍がこれまでと思った時、本尊薬師如来に祈念したところ、群蜂が出現して勝利を得ました。その折、戦死した蜂を武具と共に埋め供養したのが「蜂塚」です。これにより寺名が蜂熊山（霊蜂山）蜂前寺金剛院と改められました。今でも、毎年3月8日には「蜂供養」が行われており、全国から、養蜂関係者が訪れています。



蜂塚

不動明王立像

織田有楽斎が豊臣秀吉から味舌領2千石をいただいてから、金剛院は織田家の傘下になり、戦火で焼かれた伽藍は再建されました。7代目藩主織田豊前守輔宣殿の代によやく往古の面

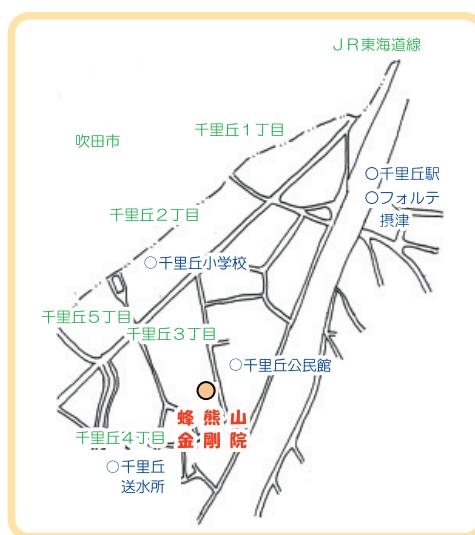


影を取り戻したと言われています。2代目藩主織田豊前守長定殿の再建した護摩堂に安置されています不動明王立像は、寄木造りの秀作で平安後期の作品とされています。平成7年の阪神淡路大震災で不動明王立像の一部が破傷し、平成10年9月から平成11年3月までに修復されました。江戸時代にも修復されたことが分かり、昭和29年に大阪府指定有形文化財に指定されました。

現在は、約6,000平方メートルとなり、昔の面影はありませんが、落ち着いたお寺です。

JR東海道線千里丘駅西口下車、線路沿いに大阪方面へ戻り10分ぐらいです。

蜂熊山 金剛院 周辺案内図



### ▼お問い合わせ先▼

摂津市教育委員会生涯学習スポーツ課

TEL 06-6383-1111

E-mail shougaigaku-sports@city.settsu.osaka.jp